

主な業績（菅野俊介）

総合建設業における技術開発および広島大学における基礎的実験研究から得られた知見や経験を基に、鉄筋コンクリート建築物の耐震技術に関わる多数の学術研究論文や調査研究報告書を作成し、実務の参考に資した。

研究業績（菅野俊介）

当該理事は、1971年より（株）竹中工務店技術研究所において、鉄筋コンクリート耐震構造の開発、特に、高強度コンクリートを用いた超高層集合住宅の開発に従事すると共に、耐震補強工法の開発にも携わった。2000年以降は広島大学において超高強度コンクリート建築の実現とガラス繊維による柱の巻き立て補強の実用化に向けた実験研究を進め、実用化に必要な基礎資料を得た。また、日本コンクリート工学協会において耐震補強および高強度コンクリートに関わる調査研究を進め、いくつかの報告書にとりまとめた。主な研究業績書は以下の通りである。

主な研究業績書（菅野俊介）

1. 高強度・超高強度コンクリートの利用技術

- 1) 上甲尚典、菅野俊介、木村秀樹、下山善秀：200N/mm²級繊維補強コンクリートを用いた柱梁接合部の復元力特性に関する実験的研究、コンクリート工学年次論文集、Vol.27, No.2, pp.691-696、2005.6
- 2) 村上裕貴、菅野俊介、和泉信之、白井一義：200N/mm²級繊維補強コンクリートを用いた外殻プレキャスト柱の復元力特性に関する実験的研究、コンクリート工学年次論文集、Vol.28, No.2, pp.655-660、2006.7
- 3) 菅野俊介、井上範夫、鈴木基行、藤田学、勅使川原正臣、木村秀樹、須田久美子、他26名：高強度コンクリート構造物の構造性能研究委員会 報告書・論文集、(社)日本コンクリート工学協会、388 pp.、2006.7
- 4) S. Sugano, H. Kimura and K. Shirai : Study of New RC Structures Using Ultra-High-Strength Fiber-Reinforced Concrete (UFC) - The Challenge of Applying 200 MPa UFC to Earthquake Resistant Building Structures, Journal of Advanced Concrete Technology, Vol.5, NO.2, Japan Concrete Institute, pp.133-147, 2007.6
- 5) 菅野俊介、魚本健人、信田佳延、他40名：高強度・高靱性コンクリート利用研究委員会 報告書、(社)日本コンクリート工学協会、242 pp.、2009.3

2 . 既存鉄筋コンクリート建築物の耐震補強技術

- 6) 菅野俊介、勝俣英雄、石橋忠良、井ヶ瀬良則、他 23 名：耐震補強の評価に関する研究委員会 報告書・論文集、(社)日本コンクリート工学協会、460 pp.、2000.6
- 7) 助信洋司、菅野俊介、荒木秀夫、椋山健二：ガラス繊維を用いて補強した袖壁付 RC 柱の耐震性能、コンクリート工学年次論文集、Vol.24, No.2, pp.1387-1393、2002.6
- 8) 村上修一、菅野俊介、佐藤立美、奥本英史：分割鋼板巻き補強による RC 柱の耐震性能に関する実験的研究、コンクリート工学年次論文集、Vol.25, No.2, pp.1555-1560、2003.7
- 9) Shunsuke Sugano (Editor) : Seismic Rehabilitation of Concrete Structures, International Publication Series 2 (IPS-2), American Concrete Institute (ACI), 526 pp., 2007.10
- 10) 菅野俊介、関松太郎、大内一、福山洋、他 24 名：性能指向型耐震補強研究委員会 報告書、(社)日本コンクリート工学協会、482 pp.、2010.12